

いずみさの昔と今 第271回

「日本の郷土玩具」

今回は7月21日(土)～10月7日(日)に開催の市制施行70周年記念平成30年度夏季企画展「日本の郷土玩具―込められた人びとの思い―」に関連して日本の郷土玩具について紹介します。

当館では独楽や雛人形をはじめとした郷土玩具、糸巻やもんどり(漁具)といった民具など泉佐野の人びとの暮らしに密着した多数の民俗資料を所蔵しています。夏季企画展では、その中から「郷土玩具」に分類される資料を中心に展示します。

「玩具(がんぐ)」とは大まかに子どもの遊び道具のことを指し、一般には子どもの遊び道具となることを目的としてつくられたものを指します。玩具は①信仰的につくられたもの、②記念的なもの、③子どもへ与えるもの、の大きく三つに分類されています。さらに「玩具」に「郷土」という言葉を足すと、また違う意味合いをもちます。「日本人形玩具辞典」(斎藤良輔・1997年)によると、「郷土玩具」とは「日本各地で古くからそれぞれ自給自足的に作られ、親しまれてきた伝統的な玩具。そのほとんどが江戸時代から明治時代にかけて生まれたもので、その土地の生活、風俗などを反映している。

多くは旧藩当時の全国各城下町などを中心に発達し、郷土色豊かな特徴を示している(後略)とされています。

郷土玩具はその土地に根差した郷土色の強いものであり、またその地域の信仰や宗教を大きく反映しているものが少なくありません。そのため地域の神事や祭事、芸能をかたどったものや、社寺からの授け物が転化し、簡易化されたものが寺社の門前市や縁日で売られるものが多いのです。さらに子どもの健やかな成長を願っていたり、子どもの前途の多幸を祈ってつくられたものや災難厄除けのまじないとしてつくられたものなど、子どもを思う親や、健やかに人生を送りたいという人びとの思いや願いが込められている郷土玩具も少なくありません。

郷土玩具の一つに張り子細工という技法があります。この技法は室町時代に中国から伝わり、江戸時代になると盛んに張り子細工の玩具がつくられるようになったといわれています。張り子細工は型の外側、あるいは内側に紙を貼り重ね、乾燥後、型を抜き取り胡粉(ごふん)を塗り、色をつけたものをいいます。この技法を用いた玩具として狐や狸々(しろうじょう)などのお面や首振り虎や達磨(だるま)などの人形、そのほかおき

あがり小法師など実に多岐にわたります。この張り子細工は材料とする反故紙の需要から、主に城下町や紙生産地、その周辺地域に多く見受けられます。この技法を用いた郷土玩具は今日でも全国各地に残っています。このように郷土玩具は昔から子どもたちが遊んだりするのはもちろん、子どもが生まれた際や寺社の催事に授与されたり売られたりと人びとの間で親しまれ、子どもの健康や豊穰を祈願するなど願いや思いが込められてきました。そんな郷土玩具たちにも今回の展示を通して少しでも興味を持ってもらえれば幸いです。



▲達磨・京都府(当館蔵)

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの
☎469-7140 Fax469-7141
休館日 月曜日、祝日(祝日が月曜日の場合は月曜日と火曜日が休館)
開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 無料

相談方法:
電話491件、来所1996件
被害救済額:94件(17,082,377円)がセンターからの助言や業者への斡旋により解決
■相談の特徴
販売購入形態による分類1位の通信販売は、スマホからの商品購入やネットオークション

内容	件数
情報料の不当請求など	102
書籍・印刷物(新聞など)	31
電話・携帯電話など	26
健康食品	25
インターネット通信サービス	18
エステ	18
融資サービス	17
賃貸借(不動産・車など)	17
郵便・貨物運送サービス	12
工事・建築関係	12

相談件数:691件(苦情616件、問い合わせ75件)
1,762人
相談、見学など:

消費生活センターだより

見守りリレー

相談はお早めにセンターへ!!

相談受付 午前9時～午後4時30分

南海線「泉佐野」駅前 ☎469-2240

平成29年度 消費生活相談状況

相談内容の書籍・印刷物の分類では、ほとんどが新聞の契約について相談です。景品を提案された契約の開始の契約を忘れてしまったこと自体を忘れてしまったというトラブルなどです。自分でもどういう状態になってしまっているのかからなくやめましょう。

最近では様々な機会で開催が減少しているため、相談件数は減少しています。しかし、いつか新年度の勧誘があるかわかりません。他者からの儲け話や勧誘はすぐ承諾の返事をせず、いったん断って、自分でよく考え、周りの人や消費生活センターに相談することが大切です。

販売購入形態

通信販売 190

店舗購入 166

訪問販売 80

電話勧誘販売 21

その他無店舗 11

訪問購入 8

マルチ・マルチまがい 8

ネガティブ・オプション 1

不明、無関係 206

ン、アダルトサイトなどへのワンクリックや架空請求が主な相談でした。インターネットで商品を購入する場合、信用できるサイトなのか、よく調べてから利用しましょう。

架空請求では、実在する大手の通販業者や企業の名前をかたり、連絡してくる事例が多くありました。また行政名をかたり、中には消費生活センターと名乗って連絡してくる事例もあります。慌てて提示された窓口

に連絡をするのは危険です。覚えのない請求は、連絡せずに無視しましょう。

相談内容の書籍・印刷物の分類では、ほとんどが新聞の契約について相談です。景品を提案された契約の開始の契約を忘れてしまったこと自体を忘れてしまったというトラブルなどです。自分でもどういう状態になってしまっているのかからなくやめましょう。